表2-2　近年の観光施設への観光入込客数の推移

観光施設	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
ホテルモンテ・ローザ	10,855	13,988	15,420	16,105	15,742
峰山高原ホテルリラクシア	16,347	23,165	26,688	18,722	15,662
エル・ビレッジ　おおかわち	33,891	31,195	28,524	18,719	15,302
水車公園こっとん亭	10,578	10,581	11,870	19,346	17,662
とのみね自然交流館	80,802	91,416	87,989	72,568	82,566
ヨーデルの森	122,940	125,222	124,128	123,263	122,433
グリーンエコー笠形	183,545	171,785	174,407	173,891	172,789
新田ふるさと村	24,102	27,393	26,808	26,482	27,424
桜華園	4,780	6,586	6,715	10,194	7,717
ピノキオ館	3,823	5,013	6,356	5,745	6,765
越知川自転車下り	621	525	924	1,263	1,488
観光交流センター	22,113	17,518	20,960	17,601	21,537
その他	157,851	163,852	176,213	163,980	151,626
合計	672,248	688,239	707,002	667,879	658,713

図2-13　神河町の主要な観光施設・観光資源の分布（神河町観光マップ）

エ．交通網

鉄道では、市川に沿って、姫路から和田山へ通ずる JR 播但線が南北に通る。JR 播但線は、かつての播但鉄道・山陽鉄道にあたり、明治 28 年（1895）には生野まで、明治 36 年（1903）には和田山まで開通し、昭和 40 年代まで栄えた生野鉱山の鉱産物の運送に寄与してきた。神河町には、現在、新野駅、寺前駅、長谷駅の 3 駅が設けられており、姫路駅から寺前駅まで約 40 分、三ノ宮駅から寺前駅まで約 1 時間 30 分である。

主要な幹線道路では、中国自動車道の福崎 JCT から北に延びる播但連絡道路が南北に縦断し、神河町には神崎南ランプ、神崎北ランプの 2 つのランプが設けられている。また、南北方向には播但連絡道路と併行して国道 312 号が走り、東西方向には町南部を県道 8 号加美宍粟線、町北西部を県道 39 号一宮生野線が山間を縫うように走っている。播但連絡道路は中国自動車道と連絡しているため、町内から姫路市まで約 40 分、京阪神まで約 1 時間 30 分以内と良好なアクセス環境が整備されている。

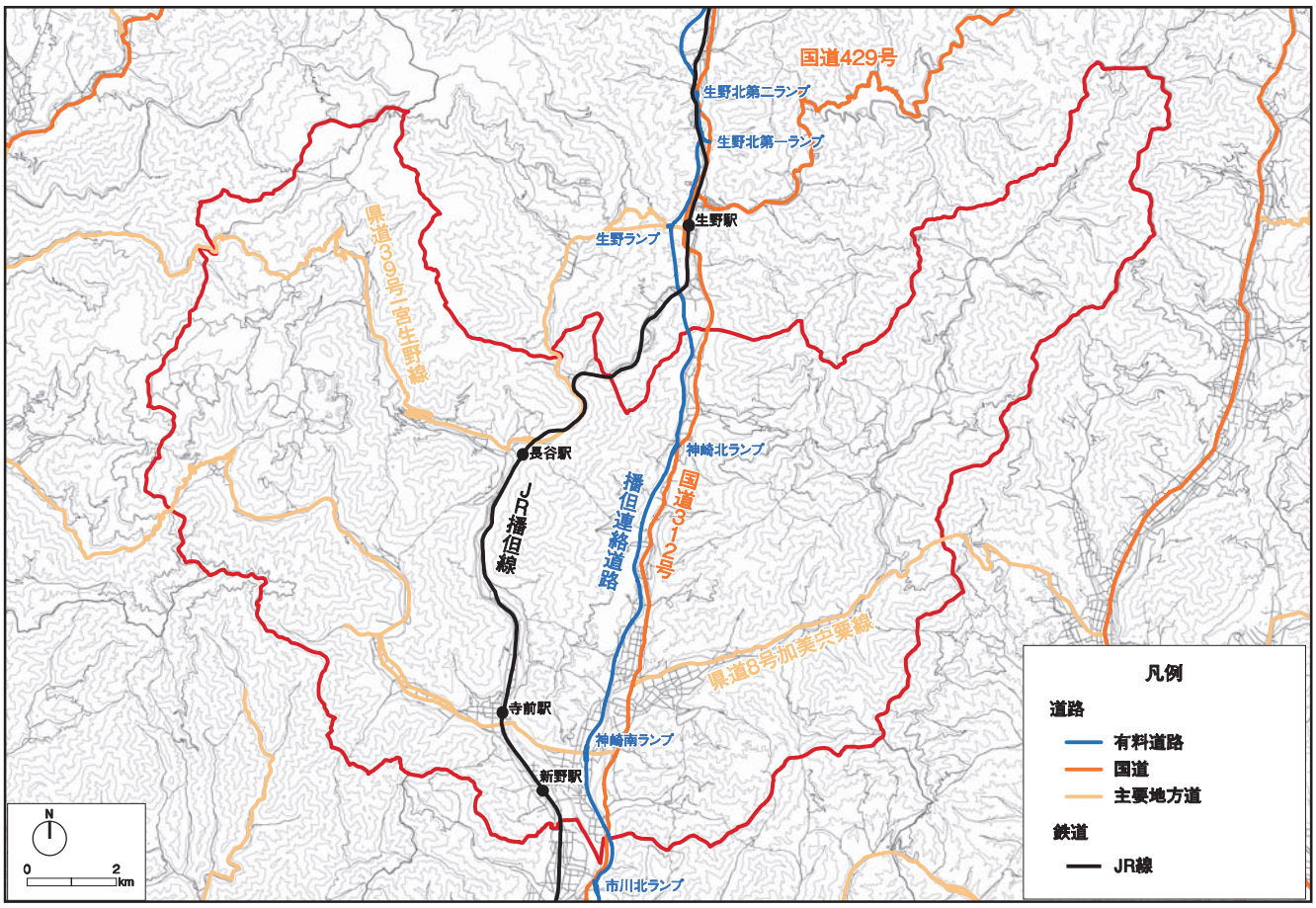


図2-14　神河町の交通網

オ．法規制等

神河町域は、「都市計画法」では都市計画区域外である。兵庫県では、平成 6 年（1994）3 月に「緑豊かな地域環境の形成に関する条例」（緑条例）を制定して、県下の都市計画区域外の地域を対象に、適切な土地利用の推進、森林・緑地の保全の観点から開発行為を適正に誘導することにより、緑豊かな地域環境の形成を図っている。神河町を含む中播磨地域においても、平成 17 年（2005）より緑条例が適用され、当町域は「1 号区域：森と高原の区域」、「2 号区域：森を生かす区域」、「3 号区域：田園の区域」、「4 号区域：まちの区域」、「2 項区域：自然と人の交流の区域」の 5 つの環境形成区域に区分され、区域ごとの地域環境形成基準に基づいて土地利用や景観の誘導が図られている。

「農業振興地域の整備に関する法律」に基づく農業振興地域は、旧神崎町域では昭和 46 年（1971）、旧大河内町域では昭和 48 年（1973）に指定されており、谷筋を中心に農業振興地域及び農用地区域が指定されている。また、森林の大半が「森林法」に基づく地域森林計画対象民有林であり、国有林は、町域南東部の笠形山付近や中央部の入炭山付近、北部の白岩山付近にみられる。また、山裾を除く森林の多くが保安林に指定されており、森林面積の約 49％を占めている。

「自然公園法」及び「兵庫県立自然公園条例」に基づく自然公園は、町域北西部の大河内高原が「雪彦峰山県立自然公園」、町域東部の千ヶ峰から笠形山に至る一帯が「笠形山千ヶ峰県立自然公園」に指定されている。

なお、当町域は、昭和 44 年（1969）に旧大河内町全域、昭和 45 年（1970）に旧神崎町域の一部（旧粟賀村の区域を除く区域）が「山村振興法」に基づく振興山村地域に指定され、平成 5 年（1993）には、旧神崎町・旧大河内町の全域が「特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律」に基づく特定農山村地域に指定されている。

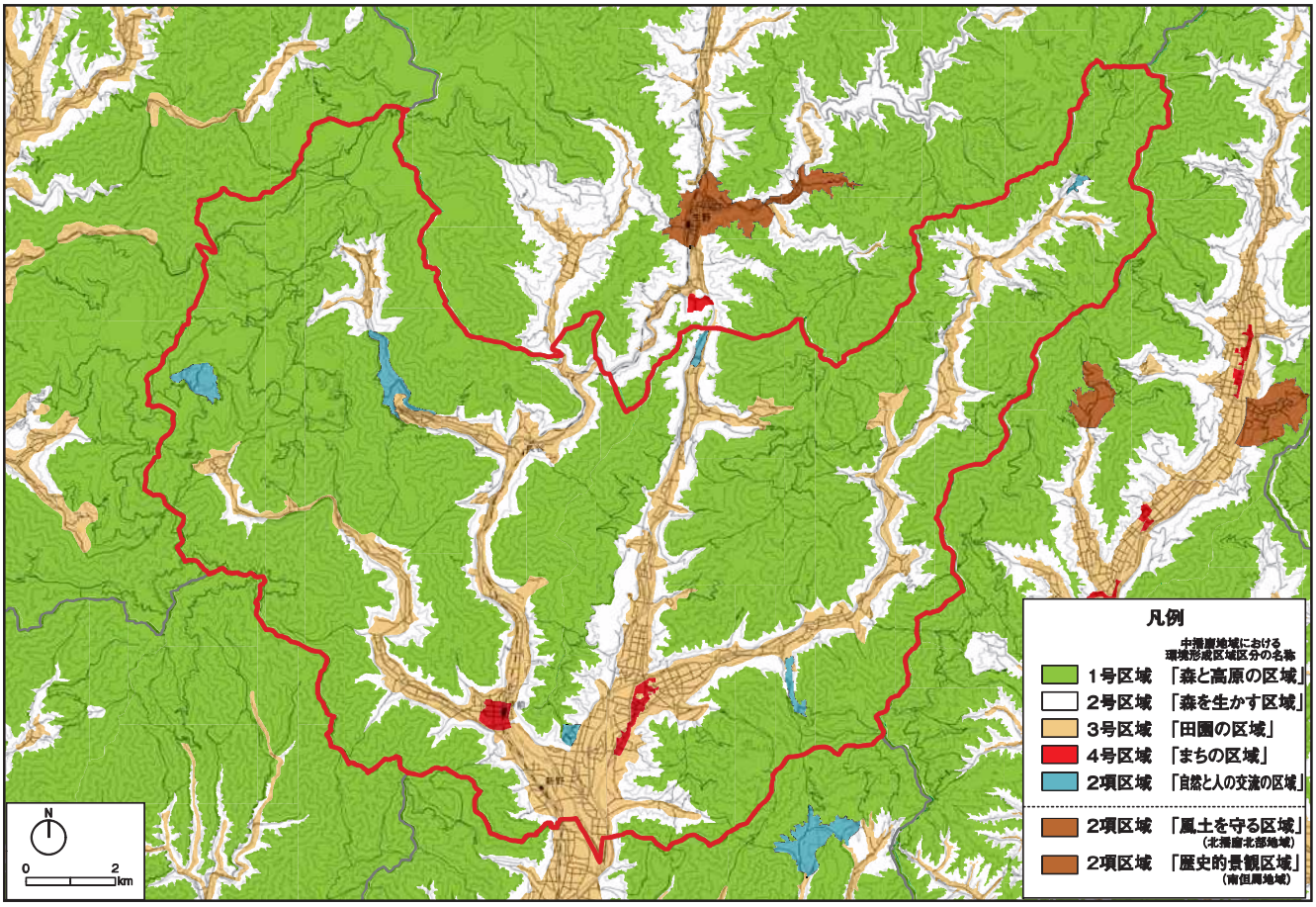


図2-15　緑条例に基づく環境形成区域区分

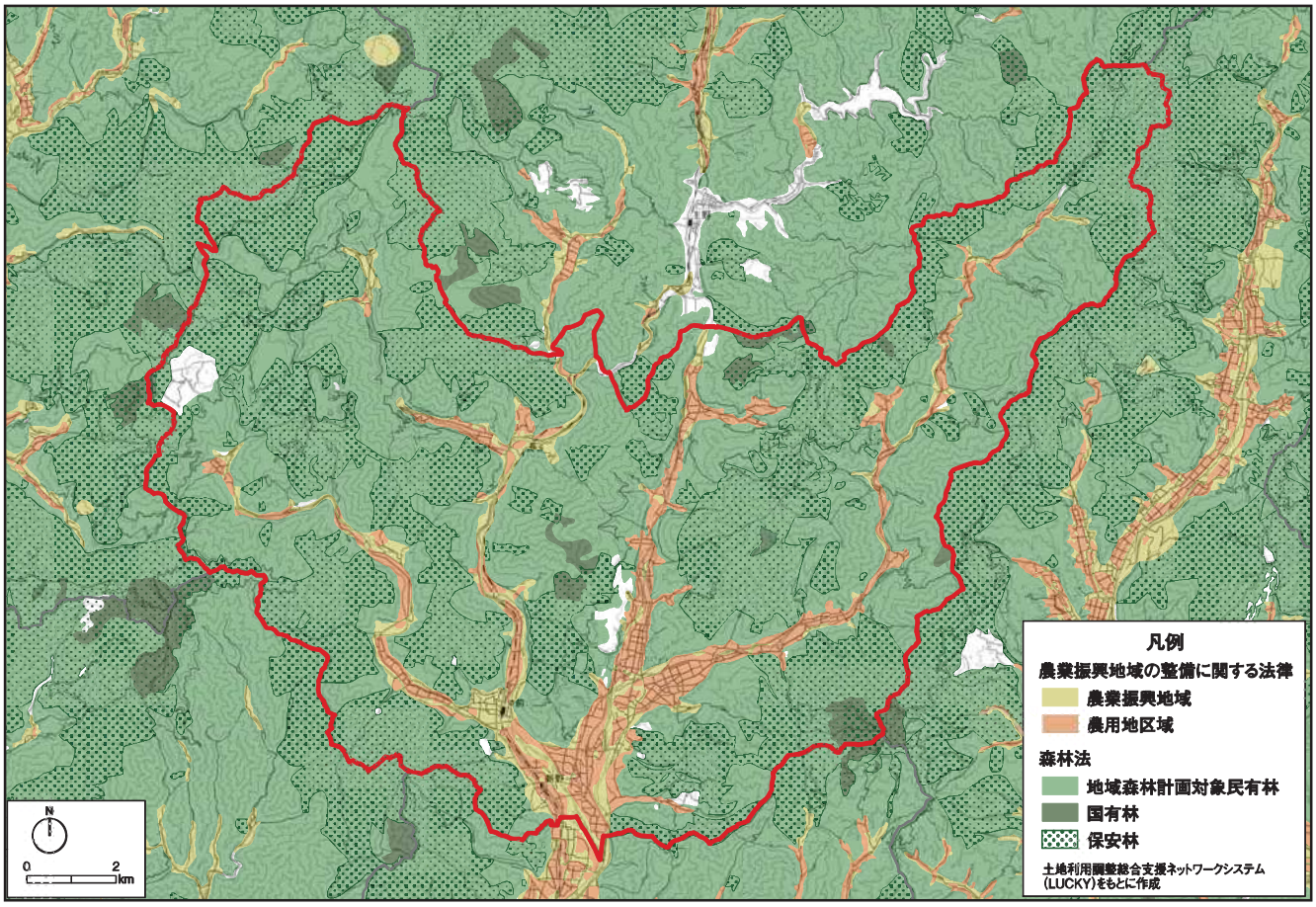


図2-16　農業振興地域の整備に関する法律及び森林法に基づく区域指定

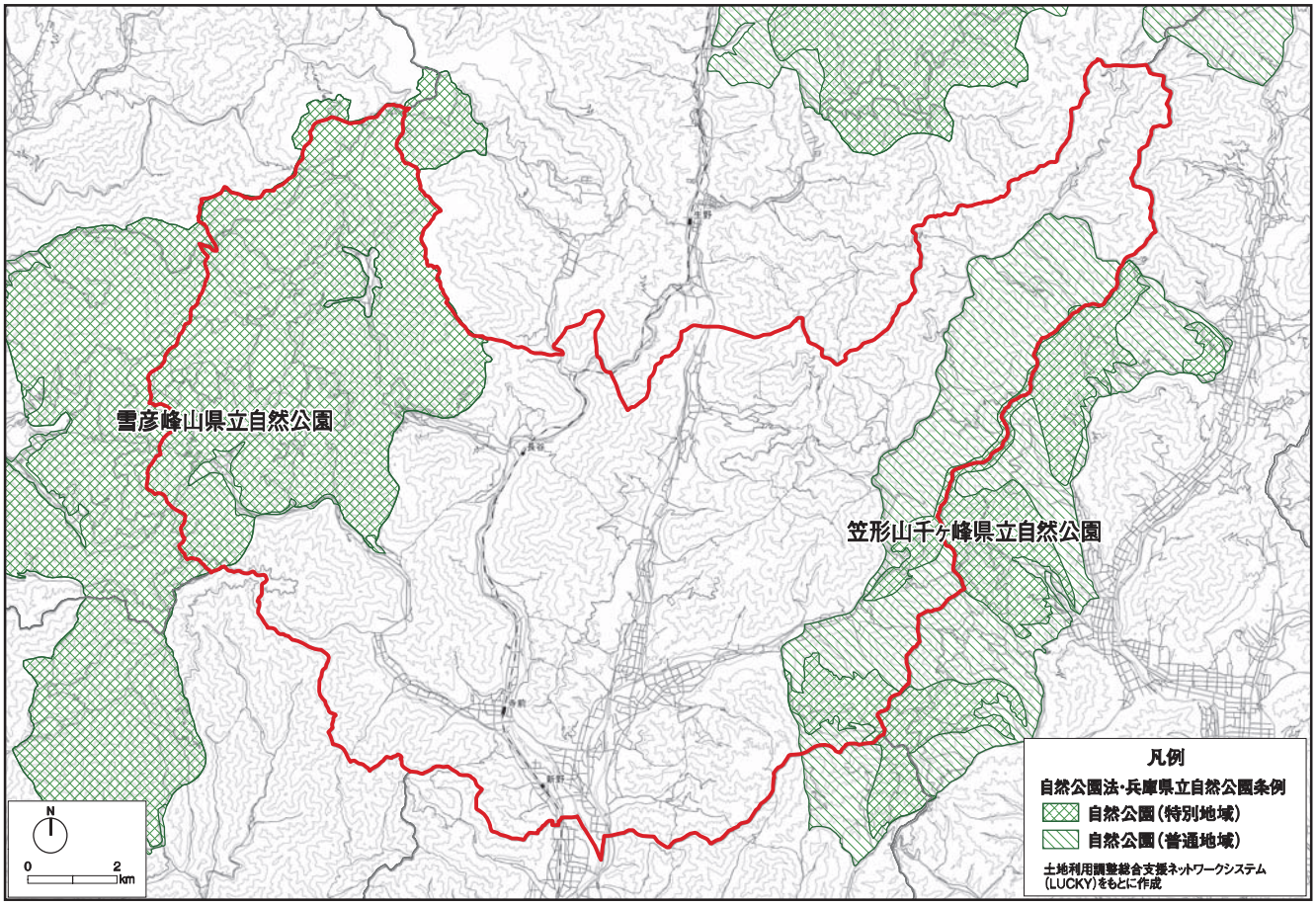
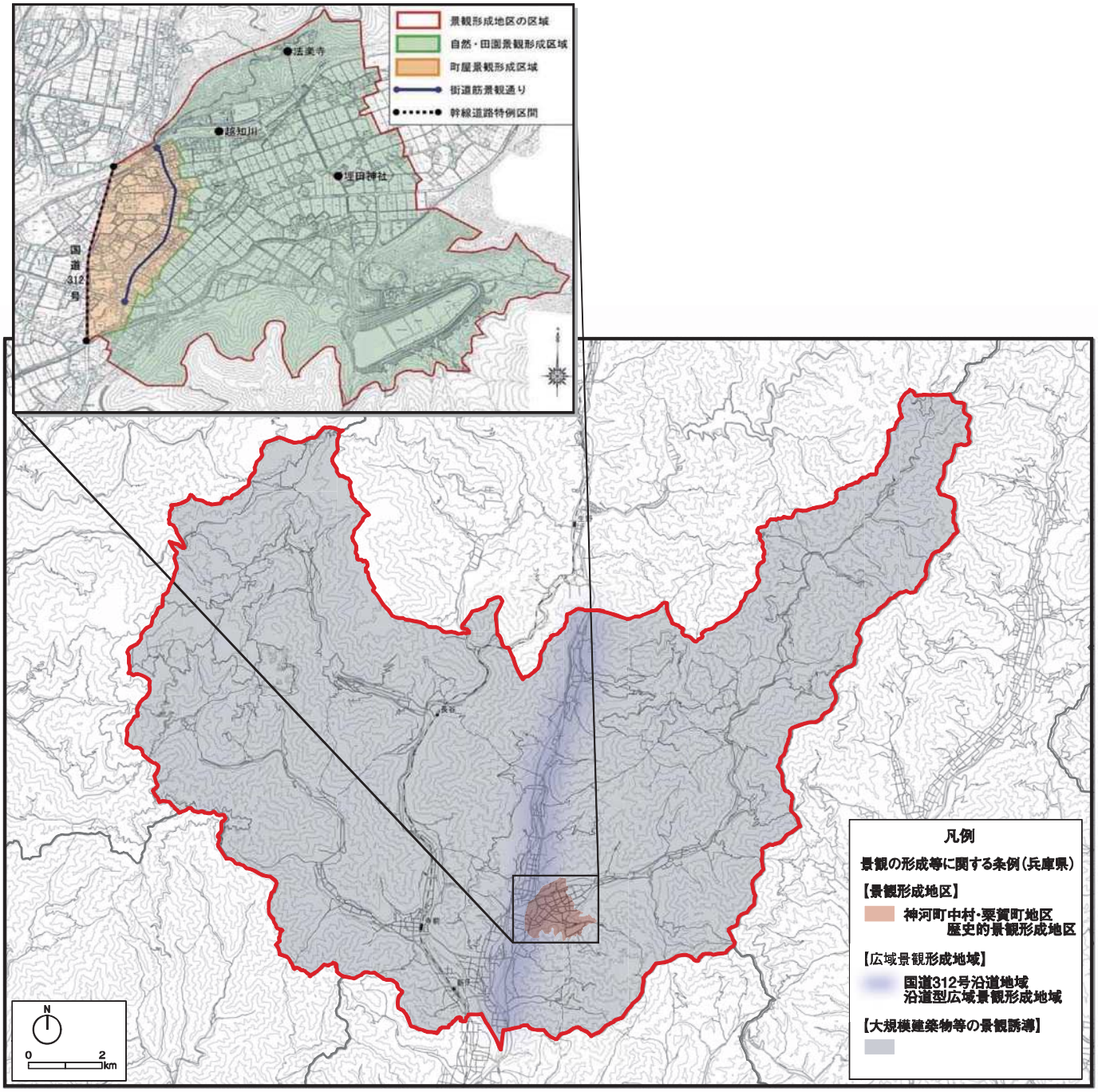


図2-17　自然公園法・兵庫県立自然公園条例に基づく区域指定

一方、景観行政においては、「景観の形成等に関する条例」（兵庫県）に基づき、平成 5 年（1993）以降、町全域を対象に大規模建築物等の景観誘導が図られている。平成 18 年（2006）4 月には「国道 312 号沿道地域沿道型広域景観形成地域」、平成 26 年（2014）4 月には「神河町中村・粟賀町地区歴史的景観形成地区」が指定され、地域や地区の特徴に応じたきめ細かな景観誘導が図られている。



※「国道312号沿道地域沿道型広域景観形成地域」の区域は、路端から1,000m以内の道路から展望できる区域

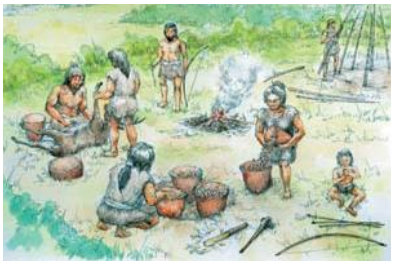
図2-18　景観の形成等に関する条例（兵庫県）に基づく広域景観形成地域・景観形成地区の指定

（3）地域の歴史と歴史文化遺産

ア．地域の歴史

○ 先史（旧石器時代・縄文時代・弥生時代）

神河町の歴史は、約 1 万 3 千年以前の旧石器時代に遡る。昭和 27 年（1952）に発見された福本遺跡は、昭和 52 年（1977）～昭和 60 年（1985）の 5 次におよぶ発掘調査において、旧石器時代の石器群や縄文時代早期の土坑内から押型文土器[注1]が出土するとともに、弥生時代中期の住居や土器棺などが検出されたことによって遺跡の全体像が明らかになった。この他、町内出土の縄文時代の遺物としては、宮野地内から出土した石鏃や峰山の開墾畑から出土した縄文時代後期の土器片などがあり、獲物を求めて渡り歩いた旧石器時代から縄文時代の人々は、当町域から宍粟市一宮にかけて広がる中国山地を生活基盤とする集落が営まれたと考えられる。



福本遺跡の縄文のくらし
（イメージ図）

弥生時代になると、市川流域に遺跡・遺物の分布がみられる。神崎郡の中部以南では水田開発により、安定した生活が営まれるようになったと考えられるが、神崎郡北部は深い谷によって、水田開発はあまり進まなかったと考えられている。町内の弥生時代の遺跡の多くは、町域の南部に位置しており、昭和 4 年（1929）の県道拡幅工事中に磨製石剣が発見された女淵遺跡（根宇野区）をはじめ、御所谷遺跡（新野区）、清水山遺跡（新野区）などが確認されている。

女淵遺跡（根宇野区）
出土「磨製石剣」

○ 古代（古墳時代・飛鳥時代・奈良時代・平安時代）

地域の有力者の成長は、大型の墳墓の築造に向かった。大型の前方後円墳の成立によって、古墳時代の幕開けとなる。市川流域では、下流域の壇場山古墳（姫路市）が最大の前方後円墳として知られているが、上流域でも 4 世紀前半の観音寺山古墳（市川町甘地）の前方後円墳をはじめ、5～6 世紀にかけての有力者の古墳が各所にみられる。6 世紀にはさらに古墳を築造する階層が広がり、横穴式石室を内包する古墳が各地に造られるようになる。町内には、城山 1～4 号墳（寺前区）や高畑通 1～2 号墳（東柏尾区）、福本山根 1～4 号墳（福本区）などが確認されている。いずれも横穴式石室をもった後期の円墳であり、この時期における開発の進展と小地域ごとの有力者の台頭を知ることができる。

福本山根古墳（福本区）

7 世紀後半（飛鳥時代後期）、国・郡（評）・里制がとられ、当町域は播磨国神前郡に属す。当町域を含む神崎郡北部一帯は、8 世紀に編纂された『播磨国風土記』や平安時代中期（10 世紀前半）に成立した『和名類聚抄』にみえる「塩岡里（埴岡郷）」に比定されている。なお、1 里あたりの人口は 1,000～1,500 人ほどと考えられているため、「塩岡里」もそのくらいの人口であったと推察できる。

『播磨国風土記』は、写本として現存する 5 つの風土記（残り 4 つは、『出雲国風土記』、『肥前国風土記』、『常陸国風土記』、『豊後国風土記』）のひとつである。風土記には、当時の地名や産物、土地の肥沃の状態、地名の起源、旧聞異事（説話や伝承など）が掲載されている。特に『播磨国風土記』は、地名説話が豊富であることが特徴とされ、「大汝命と小比古尼命の我慢比べ」など、地元の伝承がそのまま集録された貴重なものとされている。7～8 世紀には、

注 1：押型文土器は、縄文時代早期の土器の種類の一つであり、西日本を中心に広く分布する。丸い棒に山形や楕円形などの文様を彫って、土器面に押しつけながら回転させて文様をつけた土器である。

条里制が実施され、当町域でも大山付近まで条里が及んでいたが、同書に記された土地の肥沃の状態（“上上”から“下下”までの 9 つのランクで格付け）では、「塁岡里」は最下位の“下下”とされ、耕地としては恵まれていなかったことがうかがえる。また、同書には、その他にも、大川内や湯川（小田原川）ともに檜・杉が生えていることが記されており、近代には町の特産となった材木が古くから利用されていたことが分かる。また、同地域には「異俗人、卅許口[注1]」が住んでいたことも記されるなど、古代の当町域の様子をうかがい知ることができる。

花だんご（川上区）

平安時代の末期、各地で源氏と平氏による源平合戦が繰り広げられる。一ノ谷から屋島、壇ノ浦へと合戦が終焉に向かう瀬戸内地域における戦いは、その周辺地域に数多くの平家落人伝説を伝えることとなった。当町にも 7～8 軒の住居跡が残る長層集落跡には、かつて平家の落武者が住んでいたともいわれるなどの平家落人伝説が伝わり、なかでも川上区の「壇の地蔵」にまつわる伝説は、現在に受け継がれる伝統行事「花だんご」の由来にもなっている。

法楽寺（中村区）

一方、7 世紀半ばを過ぎると、仏教が各地に普及し、全国各地で寺院の建立が進められた。神河町においても、福本遺跡で 7 世紀末の瓦窯跡が発見されており、その時期まで遡る寺院が町内に存在したことが予想されるが、遺跡としては発見されていない。伝承では法楽寺（中村区）や現在の最明寺（寺前区）の前身となる閻魔坊などが飛鳥時代に遡るとされており、福本遺跡の瓦窯の供給先と関係する可能性をもつ。なお、播磨地域には、天竺（インド）出身の僧である法道仙人による開山・開基と伝わる寺院が数多くみられ、法楽寺もその一つである。そして、この法楽寺は、南北朝時代に成立した播磨の地誌『峯相記』に「粟賀犬寺」の後身寺院として登場する。同じ話は、鎌倉時代の仏教書『元亨釈書』に「播州犬寺」として紹介されており、二頭の忠犬にまつわる「播州犬寺物語」の舞台として広く知られている。史料からは、本尊が千手観音菩薩像であることがわかり、また桓武朝に「官寺」（おそらく定額寺）とされたと伝えられている。

御所谷宝篋印塔（新野区）

平安時代の中期から後期には、新野区の観音堂の本尊である一木造漆箔の十一面観世音菩薩像をはじめ、当町域においても数多くの仏像がつくられ、安置された。また、平安時代末の末法思想の広まりを背景に、経典を埋納した経塚が営まれるようになり、当町の御所谷経塚（新野区）からは平安時代後期の青銅製経筒が発見されたと伝わっている。

○ 中世（鎌倉時代・南北朝時代・室町時代）

中世になると古代律令制が崩壊し、地方豪族は土地の開発を進め、国司からの徴税を免れるために中央の権力や勢力のある貴族等に私領を寄進した。そして、自らは寄進地の現地管理者となって所有権を確保し、ここに荘園が形成されていった。元応元年（1319）8月23日付の「興福寺大乗院文書」には吉殿荘、正中2年（1325）11月25日付の「承鎮法親王附属状」（三千院文書）には大河内荘、暦応5年（1342）正月日の「御摂籙渡荘目録」（九条家文書）などには粟賀荘、延徳3年（1491）11月21日の「後土御門天皇綸旨」（北野神社文書）などには貝野荘などの荘園名がみられ、当町域にも荘園が形成されていたことがうかがえる。このように、荘園制によって中央と地方との関係が築かれた中世前期は、中央貴族等の権力者を通じて都の文化が各地方へと伝播した時代でもあり、当町域においても、この頃に現在の祭礼や行事のもととなる神事や芸能が形成されたと考えられている。

注１：写本では「口」を脱しているが、他条を参考に補足している。「異俗人、30人ほど」という意味であるが、「異俗人」が何を示すかは不明である。蝦夷とする説もある。

文和 4 年（1355）、醍醐寺領だった大河内荘の年貢が播磨守護に押領されたことが醍醐寺の記録にみられるように、14 世紀以降、武士による荘園の押領が頻発し、町域の荘園も悪党を集結して強大な武力をもった赤松氏やその被官により侵略されていったと考えられている。

鎌倉時代末、元弘 3 年（1333）の討幕に挙兵した赤松則村は、その功によって播磨守護になる。南北朝期から室町期にかけて、当町域はおおむね赤松氏の勢力下にあったが、但馬と播磨を結ぶ要衝であったため、しばしば赤松氏と山名氏の戦場となった。

赤松氏が北朝方に寝返ると、正平 6 年（北朝：観応 2 年）（1351）及び正平 8 年（北朝：文和 2 年）（1353）、但馬や丹波の南朝軍との合戦が繰り広げられ、正平 9 年（北朝：文和 3 年）（1354）には、宇野弾正忠・赤松四郎兵衛らを法楽寺に拠らせて杉原越で侵入してきた山名氏を迎撃させている。また、嘉吉元年（1441）、赤松満祐が室町幕府 6 代将軍足利義教を暗殺した嘉吉の乱が起きると、赤松氏の討伐にあたる山名持豊らが但馬街道（生野街道）を南下して粟賀に侵入した後、田原口（福崎町）で赤松勢を撃破している。嘉吉の乱により赤松満祐は一族と自害したが、その後も播磨の支配をめぐる赤松氏と山名氏の争いは繰り返された。

こうした戦乱の中で、数々の城郭が各地に営まれ、中世の神崎郡内には 32 の城郭があったとされる。当町域には、14 世紀に築城された大山城（杉区・大山区）、15 世紀に築城された寺前城（寺前区）、16 世紀に築城された奥ノ城（寺前区）、長谷城（本村区・赤田区）、柏尾城（柏尾区）などがみられる。しかし、これらの中世城郭の多くは、羽柴秀吉（豊臣秀吉）による播磨平定の際に落城したと伝えられ、現在は地形や残された石積などから往時の面影を感じとることができるのみである。

石造五輪塔（大河区）

度重なる戦乱では、主に但馬街道が使われ、その他の峠道も奇襲用の抜け道として使われた。そして、町内の各所に残る宝篋印塔や五輪塔は、このような激しい合戦で討死した武将の供養塔ではないかとも考えられている。なお、秀吉の播磨平定は天正 8 年（1580）に成るが、秀吉は疲弊した村々の復興を手掛けるなかで、同年 2 月に柏尾村（柏尾区・東柏尾区）に、これまで通り商売を続けて良いという内容を記した制札を掲げており、柏尾村の市が当地域で重要な役割を果たしていたことをうかがい知ることができる。

羽柴秀吉制札（柏尾区）

○ 近世（安土桃山時代・江戸時代）

慶長 5 年（1600）、池田輝政が播磨 52 万石を与えられて入封すると、当町域は姫路藩領となった。輝政は、検地の実施や姫路城の築城に加え、9 ヶ条からなる法令を発布して治安の安定に努めている。『慶長播磨国絵図』には、但馬街道において吉冨・貝野に一里塚が記され、町域の村々も詳細に記入されている。

その後、寛永 16 年（1639）には、旧多可郡に属していた新田村・作畑村・大畑村・越知村・岩屋村・大山下村・大山中村・猪篠村と鉱山を擁する川上村は幕府領となる。その他の村は、翌寛永 17 年（1640）に鳥取藩の飛地領となり、寛文 3 年（1663）には池田家による福本藩領となって幕末に至る。なお、福本藩領内でも寛文 6 年（1666）の分知に伴い、野村が屋形池田領に、さらに貞享 4 年（1687）には下吉冨村・鍛冶屋村・岡村・東柏尾村が吉冨池田領となっている。福本藩の陣屋は現在の大歳神社（福本区）の地に構えられ、境内に残る「旧福本藩池田家陣屋庭園」

は往時の面影を現在に伝える。また、「大歳神社祭礼図絵馬」には、幕末から明治初期頃の祭礼の様子とともに、瓦屋根と茅葺屋根が混在する街道筋の町並みが描かれており、陣屋周辺の中村及び粟賀町村は、江戸期を通じて地域の政治・経済・文化の中心地として栄えていたことをうかがい知ることができる。

大歳神社祭礼図絵馬（福本区）

一方、近世になると、農業技術や土木技術の進展等を背景に全国的に新田開発が進められた。北部を中心に山村地帯が広がる当町域は、開発の余地が少なく、大幅な石高の増加はみられなかったが、福田新田村（新田区）や福井新田村（大河区）などのように、新田開発を背景に成立した村々もみられる。また、現在も受け継がれる新野の揚水水車（元禄6年（1693）頃から使用）や井堰、ため池は、新田開発によって山沿いの高所まで広がった田畑に水を引くための先人の知恵である。

揚水水車（新野区）

18 世紀初めから中頃にかけて、苛酷な年貢の取り立てや凶作、飢饉、洪水による田畑の流失などにみまわれた百姓は、年貢の未進が続き、田畑や山林、茶園などを手放す者が続出したといわれている。このような状況のもと、福本藩領では、延宝 7 年（1679）や文政 8 年（1825）に越訴[注1]を企てたと伝えられている。また、宝永 5 年（1708）には、新野村の上月平左衛門が越訴を企て、根宇野村で藩士に斬殺されるという事件が起きたと伝えられている。この伝承を背景に新野村には、平左衛門の徳をたたえた大きな墓碑が立てられ、根宇野村では、里人が地蔵（首切り地蔵（袈裟斬り地蔵））を建立して霊を慰めたといわれている。

首切り地蔵（根宇野区）

また、市川水系の村々のなかには生野鉱山の鉱害に悩まされた村々もあったようで、鉱害を理由にたびたび貢租の減免を嘆願していたとされる。鉱害によって人々の生活を苦しめてきた鉱山であるが、生野鉱山からの鉱床のつながりのもとに、当町域においても数々の鉱山が営まれてきた。天保 8 年（1837）正月の生野代官からの勘定所宛伺に、生野銀山（朝来市生野町）・阿瀬銀山（豊岡市日高町）とともに、「数百年稼働相続」として川上銅山の名が記されている。大歳神社（川上区）の由緒碑には、永享年間（1429～1441）に銅山開発の守護神として大山祇大神を祀ったことが記されており、近世初期には既に有望な鉱山であったと考えられている。その他にも川上村には、小規模な精錬遺構が遺されている鉉赤鉱山をはじめ、小福地銅山や亀若銅山が近世中期から後期にかけて稼行していたことが知られる。また、近世後期には川上村の各所で試掘が盛んに行われ、琢美鉱山や丈山鉱山でも銅が産出したことが伝わる。また、年代は不明であるが、犬見村の朝日鉱山では銀や銅が産出されたと伝わる。なお、これらの鉱山の多くは、近代まで採掘が行われていたが、いずれも第 2 次大戦後に閉山している。

近世は、社会の安定による町人の富裕化や道の整備などを背景に旅人が増加し、地域間の交流がより一層進む時代でもある。中世に始まる西国三十三所巡礼[注2]は、近世には大衆化して発展し、当町域においても第二十七番札所である書写山圓教寺（姫路市）から粟賀、追上を経て、矢名瀬（朝来市）へと至り、第二十八番札所である世野山（現成相山）成相寺（京都府宮津市）へとつながる道筋が通っていた。当町域を縦横に走る道端には、道標や地蔵をはじめ、日本全国六十六ヶ国の国々の霊場を巡礼した六十六部により建立された石碑なども残り、当時の多くの旅人たちの往来を想い起こすことができる。また、隣村との婚姻関係を結んだ道「（通称）お嫁さんロード」や医者が籠に乗って往診に通っ

注１：役所・役人を越えて上級の官司に苦しみ等を訴えること
注２：三十三所巡礼は、観世音菩薩の化身数にちなむ三十三ヶ所の聖地を札所として定めて巡るものである。近畿地方を中心とする三十三ヶ所には「西国」が冠せられている。

た道「（通称）医者どん道」など、村同士のつながりを伝える道筋が現在に伝えられている。このような地域間の交流は、現在に伝わる数多くの庶民文化を形成してきた。そのなかのひとつが、中村区や根宇野区に伝わる獅子舞であり、それらはいずれも寛文年間（1661～1672）に多可郡松井庄（多可町加美区）から習得して持ち帰ったものと伝えられている。

中村獅子舞（中村区）

○ 近現代（明治時代・大正時代・昭和時代・平成時代）

明治になり、明治政府による「富国強兵」「殖産興業」を旗印とした近代化政策が推し進められると、当町域においても、生活の様々な側面において近代化がみられた。

生活の基盤施設としての交通面では、明治初期から新道づくりや旧道の拡張整備などが進められたが、なかでも、工部省鉱山寮が整備した官道の馬車道である「生野鉱山寮馬車道（通称：銀の馬車道）」（明治 6 年（1873）着工、同 9 年（1876）竣工）が特筆される。この道は、近世以前の但馬街道にあたる生野鉱山−飾磨港間の約 49km の道筋であり、この道を通って生野鉱山と飾磨港間において鉱山関連物資が飾磨港へと輸送された。日本初の高速産業道路といえる馬車道として、近代の日本における殖産を支えてきたが、明治 28 年（1895）、播但鉄道（現 JR 播但線）が飾磨−生野間で開通して、鉄道が物資輸送の中心となると、大正 9 年（1920）に馬車道としては廃止となった。この道筋は、その後も道路として利用され続け、現在は国道・県道・町道等となっている。道端には記念碑などがあり、また、当町域にはかつての馬車道が残る区間もみられるなど、往時の面影を残している。

現存する馬車道（吉冨区）

また一方で、日清・日露戦争後の重化学工業の発達に伴う大量の電力需要に対応するため、大河内高原地域を中心に町内各所に数々の水力発電所が建設された。その代表的なものが、明治 42 年（1909）の南小田第一発電所、明治 44 年（1911）の市川発電所、大正 8 年（1919）の南小田第二発電所、大正 11 年（1922）の宮野第一・第二発電所であり、峰山高原の東には、南小田発電所の上部貯水池として太田池もつくられた。

太田池

一方、産業面では、大正 12 年（1923）の『兵庫県神崎郡勢要覧』に、当時の旧 5 村の「著名生産物」として、米を共通とした上で、次の品目があげられている。

・大 山 村：木材、木炭、繭、清酒、瓦、杉粉、干草、牛乳、三椏
・越知谷村：木材、木炭、繭、石粉、杉粉、醤油、印刷、合銀銅、木柄
・粟 賀 村：木材、木炭、繭、清酒、蠶種、傘、提灯、菓子、和紙、牛乳
・寺 前 村：木材、木炭、繭、杉皮、洋紙、糀、傘、三椏
・長 谷 村：木材、木炭、繭、杉皮、粗製亞砒酸、木柄、杉粉

また、『神崎郡誌』（昭和 17 年、兵庫県神崎郡教育会編）には、柿や梨、栗、桃、梅などの果樹が各所で栽培されていたことや、越知谷村、大山村、長谷村、寺前村の 4 ヶ村では畜産も行われ、明治 42 年（1909）創立の寺前家畜市場では年 3 回の子牛の競市があり、全国各地から買主が殺到して盛大を極めていたことも記されている。このように、近代における当町域の産業は、稲作や畑作、果樹栽培をはじめ、木材や木炭、三椏の生産、

畜産・養蚕や酪農、吉冨瓦の製造、醸造業、さらには線香の材料となる杉粉の製造など、農林業を中心とした様々な産業が展開していたことがうかがえる。なかでも、木材、木炭は旧 5 村共通の著名生産物としてあげられ、林業は近代以降の当町の繁栄を支えてきた。

スギの植林地（猪篠区）

当町域における林業は、明治 30 年（1897）頃から盛んになる。明治 20 年（1887）頃までは、林業は経済的に成り立たないものと考えられており、植林政策も実施されてこなかった。当時、伐採は放任され、当町域の山丘には樹影はなく、大半が野山化して草が生い茂っていた。しかし、日清戦争前後の経済の発展と近代文化の発達に伴い、電柱をはじめとした設備・施設がスギ･ヒノキを必要としたことから、明治 23 年（1890）頃より、越知谷、長谷、寺前等において、スギ・ヒノキの植林が開始された。しかし、木材を遠く姫路に運ぶことは容易ではなく、運搬費用を除くと無価値に等しいものであったため、当時は未だ林業は重要視されていなかった。明治 30 年（1897）、野山の地域を区画して禁伐林とし、同時に私有林の植林を推奨するために、郡役所には林業係が新たに設けられ、全力を挙げた林業への取り組みが開始されると、林業熱は高まりをみせはじめる。明治 37 年（1904）の日露戦争後には隆盛を極め、『神崎郡産業史』（大正 14 年）には、「林業に非ずんば經濟的大成を期し難し」とある。また、「神崎郡の一大寶庫である杉扁柏の大林が天に巉し鬱蒼たる處一に越知谷を指し、長谷、瀬加、寺前等之れに亞ぐ」ともあり、越知谷では、明治後期には私有林の 7 割がスギ・ヒノキの人工林になったといわれている。

とのみね自然交流館

その後も、林業は当町域の基幹産業のひとつとして、町民の生活を支えてきたが、昭和 39 年（1964）の木材輸入の全面自由化の影響により、昭和 55 年（1980）頃をピークに国産材の価格が下落し、全国的な林業の衰退が進むと、当町域の林業も陰りをみせてきた。旧神崎町及び旧大河内町では、このような状況に対応するため、昭和 50 年代から、多くの交流人口を迎え入れることで地域の活性化を図るための都市農村交流活動を開始した。宿泊・交流施設「グリーンエコー笠形」や滞在型の田舎体験施設「新田ふるさと村」をはじめ、「かんざき桜の山桜華園」、林業を象徴する施設「かんざきピノキオ館」、農村体験型公園「ヨーデルの森」、砥峰高原の自然学習・交流施設「とのみね自然交流館」などが整備され、多くの観光客が町を訪れている。また、平成 7 年（1995）の太田池と長谷ダムを水源とした大河内発電所や平成 10 年（1998）の神崎工業団地の開発など、恵まれた自然と交通条件を活かした地域振興も図られてきた。こうしたハード整備に合わせて、ソフト事業も進められた。平成 5 年（1993）にお茶で始まったオーナー制度はりんご、桃、柚子などへと広がり都市農村交流の場としてにぎわっている。また、「兵庫・神河のゆず酒」をはじめとした柚子製品などの特産品づくりが進められ、観光振興だけでなく、農水産物の販売促進にもつながっている。

神河町では、平成 22 年度を「神河町観光元年」と位置付け、JR 寺前駅前の観光交流センターを拠点として、神河町への年間入込客数 100 万人を目標に、砥峰高原を映画や NHK の大河ドラマのロケ地として活用するなど、観光事業に積極的に取り組んでいる。

イ．神河町の歴史文化遺産

先史・古代から現代に至る長い歴史のなかで、神河町には数多くの歴史文化遺産が育まれてきた。神河町では、これまで様々な調査を実施するなかで、それらの歴史文化遺産の実態の把握や価値の明確化に取り組むとともに、歴史上・芸術上・学術上・鑑賞上の価値の高いものについては文化財保護法令に基づく文化財の指定等を行うなかで保護を図ってきた。

ここでは、これまでの国、県、町や大学等の研究機関等による調査によって把握した歴史文化遺産ならびに指定等文化財として保護を図ってきた歴史文化遺産を整理する。

（それぞれの歴史文化遺産の概要は、別冊資料編（かみかわ歴史文化遺産カルテ）に掲載する。）

○ 分野・種別ごとの調査により把握した歴史文化遺産

表 2-3 に示すこれまでの歴史文化遺産の調査成果や関連する調査成果等により把握できる歴史文化遺産を、「建造物」「美術工芸品」「民俗文化」「遺跡等」「自然資源」に分けて整理する。

なお、「しんこうタウン区」は平成 26 年（2014）に誕生したため、これまでの歴史文化遺産の調査時点では貝野区に含まれている。

表2-3　これまで把握した歴史文化遺産の整理区分と活用資料

区　分		歴史文化遺産の調査成果・資料等
建造物	寺社建築	・『神河町の寺社建築―旧神崎町域―』（平成18年3月、神河町教育委員会） ・『神河町の寺社建築―旧大河内町域―』（平成21年3月、神河町教育委員会）
	近代和風建築	・『兵庫県の近代和風建築―兵庫県近代和風建築総合調査報告書―』（平成16年3月、兵庫県教育委員会）
	近代化遺産	・『兵庫県の近代化遺産―兵庫県近代化遺産（建造物等）総合調査報告書―』（平成18年3月、兵庫県教育委員会）
	石造物	・『大河内町の石仏　第1集』（平成7年3月、大河内町教育委員会） ・『大河内町の石仏　第2集』（平成8年3月、大河内町教育委員会） ・『大河内町の石造物』（平成9年3月、大河内町教育委員会） ・『路傍の道しるべ写真展』（昭和63年、神崎町教育委員会） ・『神崎町の石仏』（平成6年3月、神崎町教育委員会）
美術工芸品	歴史史料	・『神河町の歴史文化遺産Ⅱ―歴史史料総合調査の成果―』（平成26年3月、神河町文化財活性化委員会）
民俗文化	祭り・行事・講・生活・生業	・『神河町の歴史文化遺産Ⅱ―歴史史料総合調査の成果―』（平成26年3月、神河町文化財活性化委員会）
遺跡等	散布地／集落遺跡・古墳・城館跡・生産遺跡／その他遺跡	・『神河町の歴史文化遺産Ⅰ』（平成24年3月、神河町文化財活性化委員会） ・『福本遺跡調査報告書Ⅰ』（昭和58年3月、神崎町教育委員会） ・『福本遺跡調査報告書Ⅱ』（平成20年3月、神河町教育委員会）
	旧道／古道	・『播磨風土記の里　大河内町の風土資産』（平成15年3月、富士常葉大学附属風土工学研究所） ・『歴史の道調査報告書 第一集 西国三十三所巡礼道』（平成3年3月、兵庫県教育委員会） ・『旧生野鉱山寮馬車道（推定地）試掘調査実績報告書』（平成18年度、兵庫県教育委員会）
自然資源	地形・地質	・『兵庫県版レッドデータブック』（兵庫県版レッドリスト2011）
	自然景観	・『兵庫県版レッドデータブック』（兵庫県版レッドリスト2011）
	動物等	・『兵庫県版レッドデータブック』（兵庫県版レッドリスト2012～2014）
	植物	・『兵庫県版レッドデータブック』（兵庫県版レッドリスト2010） ・平成27年度区長アンケート調査
	生態系	・『兵庫県版レッドデータブック』（兵庫県版レッドリスト2011）

■ 歴史文化遺産の把握のための主な調査の概要

寺社建築調査の様子

・**寺社建築調査** 寺社建築調査は、旧神崎町域においては平成 15～16 年度、旧大河内町域においては平成 19～20 年度に、専門家の協力のもとに実施した。調査は、『兵庫県宗教法人名簿』（兵庫県総務部教育課）に記載された神社・仏閣と、それ以外の社・祠・堂を対象として、建築形式・建築年代・特徴の把握と写真撮影を行う一次調査（旧神崎町域 56 件 104 棟、旧大河内町域 53 件 91 棟）を実施した上で、一次調査の対象建物のうち、時代・宗教・建築類型などの観点をふまえた建築的特色をもつ建物、宗教的・歴史的に見て特色をもつ建物などを選び、詳細な実測と史料調査を行う二次調査（旧神崎町域 20 件 31 棟、旧大河内町域 11 件 16 棟）を実施した。これらの調査の成果をもとに、『神河町文化財調査報告書第 1 集「神河町の寺社建築−旧神崎町域−」』（平成 18 年 3 月、神河町教育委員会）、『神河町文化財調査報告書第 3 集「神河町の寺社建築−旧大河内町域−」』（平成 21 年 3 月、神河町教育委員会）をまとめた。

・**近代和風建築調査** 平成 19～25 年度（国庫補助事業としての本格的な調査は平成 23～25 年度）にかけて、兵庫県教育委員会により「兵庫県近代和風建築総合調査」が実施された。近代和風建築とは、明治元年（1868）から昭和 20 年（1945）までに建築された建築物のうち、「伝統的様式や技法で建てられた木造建造物」又は「一部洋風の様式や技法が用いられているが、主に伝統的様式や技法で建てられた建造物」であり、その種類は、「住宅等（住宅、旅館、料亭、工場、酒蔵、商店、別荘、社宅等）」、「公共建築等（役場、学校、病院、銀行、劇場、裁判所、駅舎、公衆浴場、事務所等、倉庫、公民館、公会堂等）」、「宗教建築等（寺院の本堂・庫裡・客殿・寺務所等、神社の本殿・拝殿・社務所等）」、「その他（以上のものと一体となって保存されるべき門、塀、蔵等を含む）」の 4 つに区分されている。当町域では、80 件が把握・調査されているが、その多くは寺社建築調査の対象と重複するものであり、寺社建築 60 件を除く残りの件はいずれも「住宅等」に区分される近代和風建築である。（『兵庫県の近代和風建築−兵庫県近代和風建築総合調査報告書−』（平成 16 年 3 月、兵庫県教育委員会））

　また、平成 26 年（2014）4 月の「中村・粟賀町地区歴史的景観形成地区」の指定を受けて、同年 8 月には、県教育委員会との合同により、同地区内における近代和風建築の調査を実施した。

・**近代化遺産調査** 平成 15～17 年度にかけて、兵庫県教育委員会により「兵庫県近代化遺産（建造物等）総合調査」が実施された。近代化遺産（建造物）とは、近代的手法で造られた建造物（各種構築物、工作物を含む）であり、概ね江戸時代末期から第二次世界大戦終結時（昭和 20 年（1945））までに竣工した（昭和 20 年以降であっても戦後復興に関わったものは含む）、産業・交通・土木等に関わる物件である。当町域では、「大福隧道（だいふくすいどう）」、「真名谷隧道（まなやすいどう）」、「粟賀大橋」、「観音橋」、「宮野橋」、「南小田発電所第一発電所」、「南小田発電所第二発電所」、「旧岡本医院」、「村道新築記念碑（寺野）」の 9 件が把握・調査されている。（『兵庫県の近代化遺産−兵庫県近代化遺産（建造物等）総合調査報告書−』（平成 18 年 3 月、兵庫県教育委員会））

・**石造物調査** 旧大河内町域では、昭和 60～62 年（1985～1987）に石造物の調査が実施され、その成果は「石造物資料集」として整理された。平成 5～7 年（1993～1995）にかけて、この資料を中心とした再調査が実施され、平成 7 年（1995）には、地蔵菩薩などの菩薩像や如来像、明王像など 68 件の調査成果を掲載した『大河内町の石仏　第 1 集』（平成 7 年 3 月、大河内町教育委員会）、平成 8 年（1996）には、宝篋印塔（ほうきょういんとう）や五輪塔、題目塔など 79 件の調査

成果を掲載した『大河内町の石仏　第 2 集』（平成 8 年 3 月、大河内町教育委員会）、平成 9 年（1997）には、石灯籠や鳥居、歌碑、百度石や狛犬、道しるべなど 132 件の調査成果を掲載した『大河内町の石造物』（平成 9 年 3 月、大河内町教育委員会）がとりまとめられた。

一方、旧神崎町域における石造物の調査は、昭和 60 年代に道標の調査及び神社石造遺品の調査が実施され、昭和 63 年（1988）11 月 5～13 日には、道標 22 件の調査成果をもとに「路傍の道しるべ写真展」（神崎町教育委員会主催）が開催された。その後、神崎町教育委員会が主体となって、平成 2 年（1990）、平成 4 年（1992）、平成 6 年（1994）の 3 次にわたる菩薩像や如来像、明王像など 128 件の石仏調査を実施し、その成果は『神崎町の石仏』（平成 6 年 3 月、神崎町教育委員会）としてまとめた。

・**神河町歴史史料総合調査**　平成 21 年度、福本藩大庄屋鵜野金兵衛家文書をはじめとする神河町で所有している古文書の整理作業を専門家の指導のもとに実施し、同時期に研究者による鵜野金兵衛家文書を活用した本格的な研究が開始された。これを契機に、平成 22 年度～平成 25 年度までの期間、「神河町歴史史料総合調査」として様々な事業を実施した。これは、神河町の歴史文化を知る上で貴重な歴史史料（古文書や典籍などの文献史料、年中行事や祭礼、民具などの民俗資料）の総合整理と、歴史文化遺産の次世代への継承を目的としたものであった。

事業の実施にあたっては、「神河町文化財活性化委員会」を発足させ、平成 22～23 年度には、委員を中心に歴史史料の調査整理の方法を基礎から学ぶワークショップの実施や整理作業（史料のナンバリングと写真撮影による記録の作成を中心とし、整理作業は平成 25 年度まで実施）の公開、講演会の開催を通じて、地域住民の歴史史料への認識を深めることに努めるとともに、民俗文化に関する区長へのアンケート調査・聞き取り調査ならびにそれらに基づく史料調査等を実施した。また、伝統文化の継承や観光振興のため、地域の民俗芸能である獅子舞や和太鼓をイベントなどで広く公開するとともに、和太鼓の修理等も実施した。平成 24 年度には、NHK 大河ドラマ「平清盛」の放映にあわせて実施された県内各所の観光振興イベントと連携しながら、平家にゆかりのある「壇の地蔵」や「花だんご」等の歴史文化遺産を活用した事業や「花だんご」の実施地区の調査を行った。平成 25 年度には、「花だんご」の追加調査と埋田神社の祭礼調査を実施するとともに、事業の最終年度として、事業全体の成果を報告する講演会やシンポジウムを開催した。

史料の整理作業風景

花だんごの調査の風景

これらの調査の成果をもとに、『神河町の歴史文化遺産Ⅰ』（平成 24 年 3 月、神河町文化財活性化委員会）及び『神河町の歴史文化遺産Ⅱ』（平成 26 年 3 月、神河町文化財活性化委員会）をまとめた。なお、神河町歴史史料総合調査は、現在も継続して実施している。

寺社・近代和風建築・近代化遺産・石造物

区	寺社	近代和風建築（寺社を除く）	近代化遺産	石造物
新田	・大歳神社 ・松樹寺			・地蔵堂の六地蔵 ・市原坂の弘法大師 ・大師堂の大師像（2体）
作畑	・大歳神社 ・正覚寺 ・観音堂 ・大日堂 ・地蔵堂 ・大師堂			・観音堂の大日如来 ・観音堂の六地蔵 ・下村観音堂の地蔵 ・境目の弘法大師 ・白口坂の弘法大師 ・白口坂の道標
大畑	・大歳神社 ・西光寺 ・大日堂			・西山大師堂の地蔵（2体） ・西山の弘法大師 ・下垣内の地蔵 ・下垣内の子安地蔵 ・下垣内の弘法大師 ・南山の弘法大師 ・西光寺の六地蔵
越知	・熊野神社 ・宝寿寺 ・薬師堂	・Ｆ家住宅		・東別の大日如来 ・東別の地蔵 ・東別の延命地蔵 ・西別の不動明王 ・不動野のアゴなし地蔵 ・越知坂の地蔵 ・越知坂の弘法大師 ・川条のどんぶり（でんぐり）地蔵 ・越知の弘法大師 ・宝寿寺　地蔵（3体） ・宝寿寺　延命地蔵 ・宝寿寺　弘法大師
岩屋	・住吉神社 ・報恩寺 ・赤石山大師堂			・茶ノ木原　橋どこ地蔵 ・賽の神の大岩
根宇野	・大歳神社 ・大師庵 ・大日堂			・首切り地蔵（2体） ・女淵の地蔵（3体） ・神明谷の不動明王 ・根宇野の青面金剛
山田	・大年神社 ・吉祥寺 ・安楽寺			・大師堂の地蔵坐像 ・大師堂の地蔵立像 ・三本木の地蔵 ・安楽寺　地蔵（5体） ・吉祥寺　地蔵（7体） ・常光庵　親地蔵 ・常光庵　六地蔵
中村	・埋田神社 ・法楽寺 ・慈増寺	・旧難波酒造 ・Ｎ家住宅 ・Ａ家住宅	・観音橋	・焼香場の地蔵 ・大垣の六地蔵 ・シデガタワの弘法大師 ・観音橋の道標地蔵 ・法楽寺　観音さん ・法楽寺　地蔵（2体） ・法楽寺　丁地蔵（6体） ・法楽寺　丁石（2基） ・法楽寺　道標 ・慈増寺　閻魔
粟賀町	・大歳神社 ・生蓮寺	・Ｓ家住宅 ・Ｔ家住宅 ・Ｈ家住宅 ・Ｋ家住宅		・向山の大日如来 ・焼香場の地蔵 ・焼香場の六地蔵 ・山角の地蔵（3体） ・生蓮寺　地蔵 ・生蓮寺　延命地蔵 ・播磨國神東郡粟賀驛標柱
福本	・大歳神社 ・徹心寺 ・庚申堂	・旧岡本医院	・粟賀大橋 ・旧岡本医院 （近代和風建築と重複・再掲）	・山根大日堂の大日如来 ・山根の不動明王 ・庚申堂の地蔵 ・久七株の大日如来 ・椀堂の大日如来 ・福本の地蔵菩薩 ・福本の地蔵 ・落口の地蔵 ・堂山の不動明王 ・堂山の役行者 ・福山奥の弘法大師 ・福山・牛尾への道標 ・粟賀村道路元標
貝野	・天満宮 ・法幢寺 ・大日堂			・西向きの地蔵
寺野	・姫宮神社 ・浄光寺	・Ｎ家住宅	・村道新築記念碑	
柏尾	・大歳神社 ・法性寺 ・一心寺 ・薬師堂	・Ｏ家住宅 ・Ｏ家住宅		・法性寺　地蔵 ・法性寺　弘法大師
加納	・八幡大神宮	・Ｔ家住宅	・粟賀大橋 （福本区と重複・再掲）	・高垣の地蔵 ・高垣の六地蔵（2ヶ所）
東柏尾	・薬王子神社 ・向本寺 ・市場大師堂 ・薬師堂	・Ｎ家住宅		・市場大日堂の大日如来 ・市場の六地蔵 ・向本寺　地蔵（2体） ・向本寺　弘法大師 ・向本寺　柏尾共同墓地の六地蔵 ・薬王子神社　石燈籠道標
吉冨	・春日神社 ・長泉寺 ・庵西観音堂			・堂の本の地蔵 ・畑川原の北向き地蔵 ・イギロの地蔵 ・仲屋のいぼ地蔵（2体） ・長泉寺　大日如来 ・長泉寺　聖観音 ・長泉寺　地蔵（5体） ・長泉寺　北向き地蔵 ・長泉寺　つめ形地蔵 ・長泉寺　子安地蔵

区	寺社	近代和風建築（寺社を除く）	近代化遺産	石造物
杉	・大年神社			・南カラタニの地蔵（2体） ・北段の下の地蔵（2体） ・杉の不動明王
大山	・荒田神社 ・七宝寺			・大山の先帝地蔵 ・中組の地蔵（2体） ・七宝寺　地蔵（3体）
猪篠	・大歳神社 ・八幡神社 ・浄徳寺 ・妙音寺 ・薬師庵 ・地蔵堂			・追上の地蔵 ・追上の六地蔵 ・追上の道標 ・奥猪篠の地蔵 ・奥猪篠の弘法大師 ・奥猪篠の道標 ・浄徳寺　入口の地蔵 ・浄徳寺　地蔵
新野	・熊野神社 ・正法寺 ・長楽寺			・岡崎の地蔵 ・岡崎の彫刻地蔵 ・岡崎　五輪塔 ・岡崎　地蔵名号塔 ・岡崎　廻国塔 ・御所谷　宝篋印塔 ・御所谷　五輪塔 ・御所谷　石燈籠 ・御所谷　手洗石 ・上月平左衛門功績碑 ・上月平左衛門遺徳碑 ・正法寺　如意輪観世音菩薩 ・正法寺　宝篋印塔 ・正法寺　五輪塔 ・正法寺　萬霊塔（2基） ・正法寺　墓塔 ・正法寺　石燈籠 ・正法寺　裏庭園石燈籠 ・正法寺　社寺号標石 ・正法寺　結界石 ・不説和尚塔所 ・長楽寺　道標地蔵 ・長楽寺　不動明王 ・長楽寺　五輪塔 ・長楽寺　一石五輪塔 ・長楽寺　石燈籠 ・長楽寺　百度石 ・長楽寺　社寺号標石 ・長楽寺　結界石 ・熊野神社入口　宝篋印塔 ・熊野神社　石燈籠 ・熊野神社　鳥居 ・熊野神社　百度石 ・熊野神社　狛犬 ・熊野神社　手洗石 ・熊野神社　玉垣記念碑 ・熊野神社　社寺号標石 ・熊野神社　石橋
野村	・大歳神社 ・乗徳寺			・共同墓地　阿弥陀如来 ・大歳神社　石燈籠 ・大歳神社　鳥居 ・大歳神社　百度石 ・大歳神社　狛犬 ・大歳神社　玉垣記念碑 ・前田久吉頌徳碑
比延	・日吉神社			・比延　大歳地蔵 ・比延　題目塔 ・共同墓地　宝篋印塔 ・共同墓地　萬霊塔 ・共同墓地　廻国塔 ・共同墓地　墓塔（3基） ・共同墓地　石幢 ・日吉神社　石燈籠（2基） ・日吉神社　百度石 ・日吉神社　狛犬 ・日吉神社　手洗石 ・日吉神社　玉垣記念碑 ・日吉神社　社寺号標石 ・日吉神社　縣社昇格記念碑 ・昇格記念碑 ・神輿新調、社殿修復記念碑
寺前	・金谷神社 ・稲荷神社 ・最明寺 ・大日堂	・A 商店 ・I 家住宅		・西山の大日如来 ・大瀬の不動明王 ・大瀬の役行者 ・大道の上　双子地蔵 ・大道の上　宝篋印塔 ・大道の上　五輪塔 ・最明寺　墓地地蔵 ・最明寺　宝篋印塔 ・最明寺　墓地宝篋印塔 ・最明寺　五輪塔 ・最明寺　墓地五輪塔 ・最明寺　萬霊塔 ・最明寺　無縫塔 ・最明寺　石燈籠 ・最明寺　社寺号標石 ・藤原長次郎頌徳碑 ・金谷神社　石燈籠 ・金谷神社　鳥居 ・金谷神社　百度石 ・金谷神社　狛犬 ・金谷神社　玉垣記念碑 ・稲荷神社　手洗石 ・稲荷神社　移築記念碑 ・道路改修記念碑 ・道標（役場駐車場南東隅）
鍛治	・大歳神社 ・山王神社 ・光明寺 ・寿福寺			・寿福寺　三十三ヶ所観世音 ・寿福寺　阿弥陀如来 ・寿福寺　社寺号標石 ・大歳神社　石燈籠（3基） ・大歳神社　百度石 ・大歳神社　狛犬 ・大歳神社　玉垣記念碑
大河	・大歳神社 ・妙楽寺			・一願地蔵 ・用田の正院大師 ・分町古墳　宝篋印塔 ・分町古墳　五輪塔 ・分町古墳　一石五輪塔 ・共同墓地　自然石地蔵 ・共同墓地　萬霊塔 ・共同墓地　廻国塔 ・大河　五輪塔 ・大河　庚申塔 ・大河南　五輪塔 ・大河南　名号塔 ・大歳神社　鳥居石燈籠 ・大歳神社　石燈籠 ・大歳神社　鳥居 ・大歳神社　歌碑 ・大歳神社　百度石 ・大歳神社　狛犬 ・大歳神社　手洗石 ・大歳神社　玉垣記念碑 ・社殿再建記念碑 ・架橋記念碑（旧福井橋）

【 建造物 】

区	寺社	近代和風建築（寺社を除く）	近代化遺産	石造物
上岩	・秋葉神社 ・日啓寺			・上岩　題目塔 ・上岩　供養塔 ・日啓寺　石燈籠 ・日啓寺　社寺号標石 ・日啓寺　層塔 ・廣山徳頌徳碑 ・秋葉神社　石燈籠 ・秋葉神社　百度石 ・秋葉神社　玉垣記念碑
高朝田	・大歳神社 ・林昌寺			・川辺の地蔵 ・高朝田下旧道　萬霊塔 ・平大神　宝篋印塔 ・平大神　五輪塔 ・平大神　一石五輪塔 ・林昌寺　地蔵 ・林昌寺　阿弥陀如来 ・林昌寺　役行者 ・林昌寺　萬霊塔（2基） ・林昌寺　社寺号標石 ・従軍記念碑 ・大歳神社　石燈籠 ・大歳神社　歌碑 ・大歳神社　百度石 ・大歳神社　玉垣記念碑
宮野	・立岩神社 ・薬師堂		・宮野橋	・薬師堂　宝篋印塔 ・岩の下　宝篋印塔 ・一の谷立岩家墓地　宝篋印塔 ・一の谷立岩家　墓塔 ・信寂庵　地蔵（2体） ・信寂庵　大日如来 ・信寂庵　薬師如来 ・信寂庵　不動明王 ・信寂庵　名号塔 ・信寂庵　廻国塔 ・立岩神社　石燈籠 ・立岩神社　百度石 ・立岩神社　狛犬 ・立岩神社　手洗石 ・立岩神社　社寺号標石 ・鎮座千年記念碑 ・昭和御大典記念庭園 ・かけが谷道標
南小田	・八幡神社 ・大将軍神社 ・稲荷社 ・大林寺 ・庚申堂		・南小田発電所第一発電所 ・南小田発電所第二発電所	・庚申堂　改築記念碑 ・石田横瀬　名号塔 ・太田滝道入口の地蔵 ・穴田の地蔵 ・八幡神社　地蔵 ・八幡神社　大日如来 ・八幡神社　石燈籠 ・八幡神社　鳥居 ・八幡神社　百度石 ・八幡神社　狛犬 ・八幡神社　手洗石 ・大林寺　線香立 ・大林寺　仏燈石
上小田	・祇園神社			・権現堂　五輪塔 ・小原の首無地蔵 ・小原の六地蔵 ・小原の一石五輪塔 ・小原岸本家　墓塔 ・平野の地蔵（2体） ・抜居のいぼとり地蔵 ・上小田峠の地蔵 ・高倉の地蔵 ・祇園神社　石燈籠（2基） ・祇園神社　歌碑（2基） ・祇園神社　玉垣記念碑
川上	・大歳神社 ・福田寺			・阿弥陀堂　弘法大師 ・旗切りの地蔵 ・川上の馬鳴観世音菩薩 ・川上　名号塔 ・みやまの寺尾地蔵 ・みやまの馬鳴観世音菩薩 ・みやま清水の薬師如来 ・みやま岩淵の不動明王 ・みやまの不動明王 ・黒岩の文殊菩薩 ・黒岩の滝不動明王 ・黒岩の弘法大師 ・福田寺　壇の地蔵 ・福田寺　八体地蔵 ・福田寺　薬師如来 ・福田寺　弘法大師 ・福田寺　墓地宝篋印塔 ・福田寺　墓地墓塔 ・日清記念碑 ・大歳神社　石燈籠（2基） ・大歳神社　鳥居 ・大歳神社　百度石 ・大歳神社　狛犬 ・藤原宗頌徳碑
大川原	・大歳神社 ・板屋稲荷社 ・地蔵堂 ・大日堂			・大川原　地蔵 ・かくれ畑　宝篋印塔 ・かくれ畑　五輪塔 ・かくれ畑　一石五輪塔 ・長谷　廻国塔
本村	・市原神社 ・祐泉寺 ・清水寺 ・毘沙門堂 ・犬塚堂	・Ｏ家住宅 ・Ｏ家住宅 ・Ｔ家住宅		・大中家の地蔵墓石 ・本村　地蔵 ・本村　巡拝塔 ・犬塚　宝篋印塔 ・犬塚　一石五輪塔 ・小裏　五輪塔 ・清水寺　墓石上地蔵 ・清水寺　千手観世音菩薩 ・清水寺　萬霊塔 ・清水寺　無縫塔 ・祐泉寺　地蔵 ・祐泉寺　萬霊塔 ・祐泉寺　社寺号標石 ・市原神社　石燈籠（2基） ・市原神社　鳥居 ・市原神社　百度石 ・市原神社　狛犬 ・市原神社　社寺号標石 ・芦田耕次頌徳碑
赤田	・八幡神社 ・地蔵堂 ・庚申堂			・庚申堂の地蔵 ・赤田　萬霊塔 ・赤田　廻国塔 ・赤田　修行碑
重行	・重行大神 ・稲荷社 ・お堂（地蔵堂）	・Ｕ家住宅		

区	寺社	近代和風建築（寺社を除く）	近代化遺産	石造物
為信	・為信神社 ・大日堂 ・薬師堂			・坂の辻地蔵 ・為信　六地蔵 ・一字一石塔 ・鳴戸谷　大日如来 ・為信神社　石燈籠（2基） ・為信神社　鳥居 ・道標地蔵
峠	・大師堂			
栗	・鉾採神社 ・観音堂			・不動の地蔵（不動の滝） ・不動明王（不動の滝） ・不動の役行者（不動の滝） ・日野原地蔵 ・栗　宝篋印塔 ・公会堂裏　五輪塔 ・公会堂裏　名号塔 ・鉾採神社　石燈籠 ・鉾採神社　鳥居 ・鉾採神社　百度石 ・鉾採神社　狛犬 ・鉾採神社　手洗石 ・架橋記念碑（栗橋） ・道標（不動の滝） ・道標地蔵（日野原） ・道標地蔵（栗橋手前）
渕	・大歳神社 ・地蔵堂		・大福隧道 ・真名谷隧道	・地蔵堂の地蔵 ・渕地蔵　名号塔 ・大歳神社　石燈籠 ・大歳神社　名号塔 ・大歳神社　鳥居 ・大歳神社　百度石 ・大歳神社　狛犬 ・列車事故弔魂碑
合計	109	20	9	424

大歳神社（新田区）

天満宮（貝野区）

為信神社（為信区）

庚申堂・稲荷社（南小田区）

最明寺（寺前区）

乗徳寺（野村区）

仲屋のいぼ地蔵（吉冨区）

追上の道標（猪篠区）

観音橋の道標地蔵（中村区）

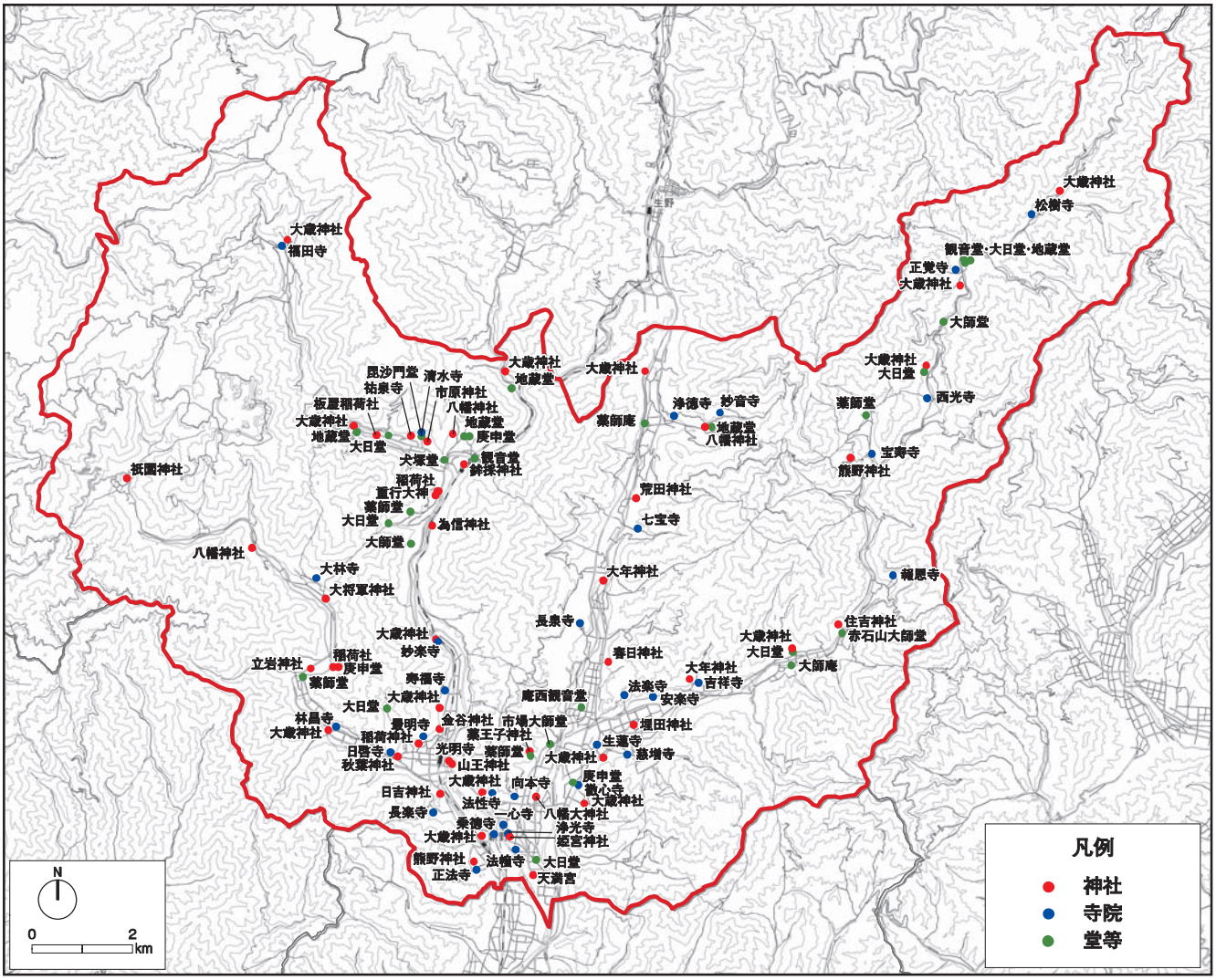

大歳神社
松樹寺
観音堂・大日堂・地蔵堂
正覚寺
大歳神社
大師堂
大歳神社
大日堂
西光寺
薬師堂
宝寿寺
熊野神社
大歳神社
福田寺
大歳神社
地蔵堂
大歳神社
薬師庵
浄徳寺
妙音寺
地蔵堂
八幡神社
昆沙門堂
清水寺
祐泉寺
市原神社
板屋稲荷社
八幡神社
大歳神社
地蔵堂
地蔵堂
大日堂
庚申堂
犬塚堂
観音堂
鉾採神社
稲荷社
重行大神
薬師堂
大日堂
為信神社
大師堂
祇園神社
八幡神社
荒田神社
七宝寺
大林寺
大将軍神社
大年神社
箱恩寺
長泉寺
住吉神社
赤石山大師堂
大歳神社
大日堂
大師庵
大歳神社
妙楽寺
稲荷社
庚申堂
立岩神社
薬師堂
春日神社
大年神社
吉祥寺
寿福寺
法楽寺
安楽寺
大歳神社
大日堂
庵西観音堂
林昌寺
大歳神社
豊明寺
金谷神社
市場大師堂
稲荷神社
薬王子神社
堀田神社
日吉寺
光明寺
薬師堂
生蓮寺
秋葉神社
山王神社
大歳神社
慈増寺
庚申堂
向本寺
日吉神社
大歳神社
徹心寺
法性寺
大歳神社
長楽寺
心寺
八幡大神社
乗徳寺
浄光寺
大歳神社
姫宮神社
熊野神社
法輪寺
大日堂
正法寺
天満宮
N
0
2
km
凡例
神社
寺院
堂等

図2-19　寺社分布図

歴史史料

所有区名・所有者名	史料点数
新田区	12
作畑区・足立美代子家文書	3
作畑区・足立誠太郎家文書	28
大畑区	1
越知区	2
山田区	6,030
中村区	209
粟賀町区	91
福本区・鵜野金兵衛家文書	8,879
貝野区	66
寺野区	1,961
柏尾区	5,914
東柏尾区	728
東柏尾区・中野松五郎家文書	196
吉冨区	443
大山区・七宝寺文書	2
大山区・羽戸尊比古家文書	250
猪篠区・藤原資広家文書	21
猪篠区・藤原初音家文書	2

所有区名・所有者名	史料点数
新野区	614
新野区・正法寺文書	111
野村区・鵜野百合子家文書	1,552
野村区・鵜野君子家文書	4
比延区	130
寺前区	394
鍛治区	2
鍛治区・石堂治家文書	42
鍛治区・藤田耕三家文書	133
大河区	15
大河区・用田地区伊勢講文書	24
高朝田区・黒田至家文書	32
川上区	2,207
本村区・清水寺文書	2
為信区・藤原和子家文書	64
栗区・前嶋治彦家文書	5,005
粟賀北部五ヶ村山管理組合所蔵文書	87
大山財産区所蔵文書	28
合計	**35,284**

御仕置五人組帳　文政11年(1828)
(新田区有文書)

播磨国多可郡越知村検地帳　延宝5年(1677)
(越知区有文書)

切死丹宗門御改男女人数帳　安政6年(1859)
(中村区有文書)

乍恐奉願上御普請所覚　安永9年(1780)
(粟賀町区有文書)

春日神社朱印状　貞享2年(1685)
(吉冨区有文書)

役中書類綴　明治33年(1900)
(栗区　前嶋治彦家文書)

指入申鉄炮株借請之事　安政2年(1855)
(為信区　藤原和子家文書)

定土免之事　元和4年(1618)
(新野区有文書)

【民俗文化】

祭り・行事

	新田	作畑	大畑	越知	岩屋	根宇野	山田	中村	粟賀町	福本	貝野	寺野	柏尾	加納	東柏尾	吉冨	杉	大山	猪篠	新野	野村	比延	寺前	鍛治	大河	上岩	高朝田	宮野	南小田	上小田	川上	大川原	本村	赤田	重行	為信	峠	栗	渕
正月行事	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	－	－	○	－	－	○	－	○	－	－	○	－	○	○	－	－	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－
トンド（小正月）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	△	－	○	○	－	○	○	○	○	－	○	○	○	－	○	－
追儺（鬼追い）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△	－	－	－
狐かえり	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△	－	－	－	△	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－
さいのとう	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
七草	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
般若会	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
毘沙門祭り	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	○	－	－	－	－	－	－
神除祭	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
初天神	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
十六善神祭	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
若宮さん	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－
初午	－	○	－	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－
斎灯（節分）	△	－	－	－	－	○	－	○	－	○	○	－	○	○	－	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	－	○	○	○	○	－	○	○	○	－	○	－	－	－
星祭り	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
えびすまつり	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
涅槃会	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
祈願祭	○	－	○	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
祈年祭	－	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
薬神さん	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
コト	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
春会式	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
立春祭	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
妙見祭り	－	○	－	－	○	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－
彼岸会	－	－	○	－	○	○	－	○	○	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	○	○	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－
桃の節句	△	－	－	－	－	○	－	○	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	△	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－
春祭り	－	○	○	○	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	○	－	－	－	○	－	○	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－
山焼き	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－
潅仏会、花祭り	○	○	○	○	○	△	－	○	○	－	○	－	△	－	－	△	－	○	△	○	－	－	○	○	－	－	○	○	－	－	○	－	○	－	－	－	－	○	－
土手、大瀬の祭典	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
大師祭り	－	○	－	－	○	○	○	－	－	○	－	－	○	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△	－	－	－	－	－	－	－	○	－
お稲荷さん	－	○	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
金昆羅さん	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－
グリーンエコー笠形祭り	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
長楽寺十一面観音	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
端午の節句	△	－	－	○	－	○	－	○	－	△	－	－	－	－	－	○	－	－	△	－	－	－	○	－	－	－	△	－	－	△	－	－	－	－	－	○	○	－	－
さなぼり	－	－	－	－	－	△	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
湯立て及び夏祭り	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	○	－	－	－	－	○	○	○	△	－	△	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	－	○	△	○	○	－
田祭り	－	－	－	－	－	－	△	△	－	△	－	－	－	－	－	△	－	－	△	－	－	－	－	－	－	－	△	－	－	△	－	－	－	－	－	－	△	－	－
虫送り	－	－	△	△	－	△	△	△	△	△	△	－	△	－	○	△	△	△	△	△	－	△	△	△	－	△	△	△	－	△	△	－	△	○	－	△	△	－	－
氷餅	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
土用の腹餅	△	△	△	△	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△	－	－	△	－	－	－	－	－	－
土用の丑湯	－	－	－	△	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
七夕祭り	△	－	△	○	△	△	－	○	○	－	－	○	○	○	○	○	－	－	○	－	○	○	○	－	－	－	○	－	－	△	－	－	○	△	－	△	－	－	－
八幡祭	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－
大日祭り	－	○	○	－	○	○	○	－	△	○	－	－	○	－	○	○	○	○	－	○	－	○	○	○	－	－	△	○	○	－	－	○	○	－	－	－	－	－	－
雷神さん	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	○	－	○	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
川すそさん祭り	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
村祈祷	－	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
観音祭り	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－
祇園祭	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
夕立の神さん	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
吉田さん祭り	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
輪抜祭り	－	－	－	－	－	－	△	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
秋葉神社祭典	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
盂蘭盆会	－	－	○	－	○	－	－	○	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	△	○	○	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－
盆踊り	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○	－	○	○	○	△	△	○	△	△	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	－	－	△	－	○	－
地蔵盆	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○

凡例　○：現在も行われている　　△：過去に行われていた　　－：行われていない

（『神河町の歴史文化遺産Ⅱ－歴史史料総合調査の成果－』（平成26年3月、神河町文化財活性化委員会）より